

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭59—73191

⑫ Int. Cl.³

A 23 L 1/10

A 23 P 1/00

識別記号

庁内整理番号

6760—4B

6543—4B

⑬ 公開 昭和59年(1984)5月18日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 食品自動成形装置

⑯ 実 願 昭57—169073

⑰ 出 願 昭57(1982)11月8日

⑱ 考 案 者 浅賀博

東京都目黒区碑文谷1丁目11番
11号

⑲ 出 願 人 浅賀博

東京都目黒区碑文谷1丁目11—
11

⑳ 出 願 人 浅賀勇三

東京都目黒区碑文谷1丁目11番
11号

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- 1 間欠的に進行するコンベアー1に型枠2を配設し、その型枠2内の底部に突起5aと突起軸5bを突設した可動板5を昇降自在に設け、その突起5aと突起軸5bを突設した可動板5の底面に作動杆6を突設して型枠2外に突出させコンベアー1内の内側適宜位置に配設した押上板10に当接するように構成すると共に、その押上板10と対向するコンベアー1の外側位置に型枠2内に嵌合する突起11aと突起軸11bを突設した押圧板11を昇降自在に設けた事を特徴とする食品自動成形装置。
- 2 可動板5と押圧板11に、それぞれ、複数の突起5a、11aと突起軸5b、11bを突設した事を特徴とする、前記実用新案登録請求の範囲第1項に記載の食品自動成形装置。
- 3 可動板5と押圧板11に、それぞれ、突起5a、11aと突起軸5b、11bを磁石13(又は吸着盤)等の適宜した装着手段で着脱自在に突設した事を特徴とする、前記実用新案登録請求の範囲第1項乃至第2項記載の食品自動成形装置。

- 4 可動板5に小孔14部を形成した突起5aを突設し、該小孔14部へ押圧板11の突起軸11bが嵌合してなる、前記実用新案登録請求の範囲第1項乃至第3項記載の食品自動成形装置。

図面の簡単な説明

第1図はおにぎりを成形する場合の正面図、第2図はおにぎりを成形する順序を示した型枠の状態を示す縦断面図、第3図は他の実施例を示す可動板の縦断面図、第4図は複数の突起と突起軸を突設した実施例の縦断面図、第5図は突起と突起軸を磁石(又は吸着盤)等で着脱自在に装着する実施例の縦断面図、第6図は突起部に形成した小孔部に突起軸が嵌合する実施例の縦断面図である。

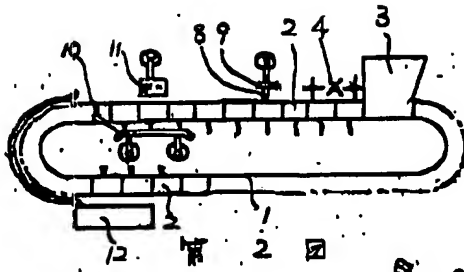
図中番号1はコンベアー、2は型枠、3は米飯供給ホッパー、4はかくはん棒、5は可動板、5aは突起、5bは突起軸、6は作動杆、7はバネ、8は突条、9は孔あけ具、10は押圧板、11は押圧板、11aは突起、11bは突起軸、12は受台、13は磁石(又は吸着盤)、14は小孔、15は米飯、15aは通過孔、15bは窪み部。

第 3 図

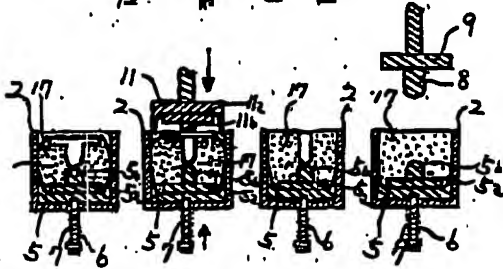


BEST AVAILABLE COPY

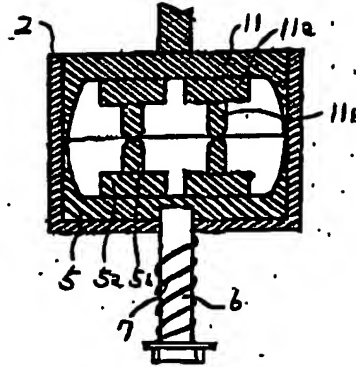
第 1 圖



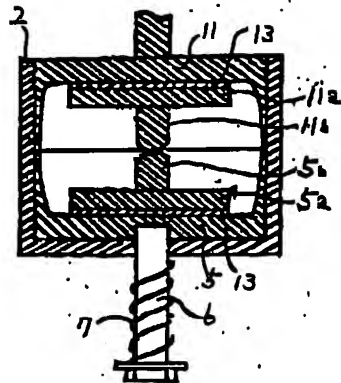
第 2 圖



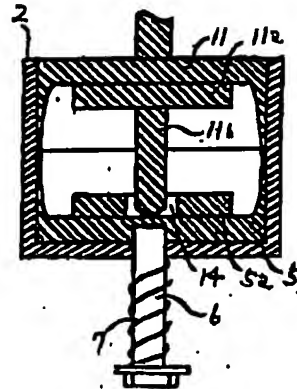
第 4 圖



第 5 圖



第 6 圖



BEST AVAILABLE COPY